報道関係各位

2026 年 11 月 27 日
公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

【世界初演】マルタ・アルゲリッチ、＜能＞と出会う！

STAGE+ by Deutsche Grammophon

別府アルゲリッチ音楽祭から誕生した、バッハと新作能舞のドキュメンタリーと公演映像［ENCOUNTER 出会い］が、＜ドイツ・グラモフォン STAGE+＞にて 11 月 28 日（土）より配信開始！

◎日本からのオリジナル作品が世界配信

ピアニスト、マルタ・アルゲリッチが弾くバッハと、**能楽師で人間国宝の大槻文藏**の共演を、**ステファニー・アルゲリッチ監督**が追った美しい映像が、**2026 年 11 月 28 日（土）0:01** より配信されます。

STAGE+（ステージプラス）は、ユニバーサルミュージック合同会社傘下の名門クラシックレーベル＜ドイツ・グラモフォン（DG）＞が運営する、**月額 1,990 円**（年額 19,900 円※）で楽しめる映像＆音楽サブスクリプション配信サービスです。※12 月 1 日以降の価格、11 月 30 日までは年額 7,960 円

STAGE+ by Deutsche Grammophon

公式ウェブサイト

https://www.stage-plus.com/ja/discover

※アカウント登録・プラン選択が必要です



ENCOUNTER 出会い　新作能舞

アルゲリッチが弾くバッハ「パルティータ 第 2 番」に導かれ、新しく創作された優雅さと魂の躍動を秘めた能の舞は、正に幽玄の世界へ導かれていきます。
アルゲリッチにとって、初めての能との共演は深い共感、喜び、好奇心に満ちたものとなりました。
アルゲリッチ自身が語る言葉、そして大槻文藏との対話は、異なる芸術への敬意に溢れています。
その道を極める両者の共演への過程は、誰もが魅了されることでしょう。

作品情報

ENCOUNTER 出会い

ドキュメンタリー監督：ステファニー・アルゲリッチ
出演：マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）、大槻文藏（能舞：シテ方観世流能楽師）

［ドキュメンタリー］収録時間 20:56
［新作能舞パルティータ］収録時間 25:45

★パルティータ 第 2 番 ハ短調 BWV 826／ヨハン・ゼバスティアン・バッハ（1685-1750）による傑作のひとつ。全 6 曲で構成される。

★能／室町時代（14 世紀）からの歴史を持つ日本最古の舞台芸術であり、死生観と美学を凝縮した精神性を宿す。異界（あの世）と現世の境界線を表す「橋掛かり」、演者の素顔を隠し異なる存在や魂を憑依させる「能面」という特筆した仕掛けを持つ。



プロデューサー：伊藤京子（別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー）
公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団制作
撮影日：2022 年 5 月 29 日～31 日
撮影地／協力：MOA 美術館（静岡県熱海市）

当作品の Blu-ray ディスクは Amazon で好評販売中　定価：4,400 円（税込）
購入サイト　https://www.amazon.co.jp/dp/B0F9Y53X9M

当作品は 2025 年 5 月、日本記者クラブ主催で映像監督ステファニー・アルゲリッチ、マルタ・アルゲリッチ、大槻文藏、別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー伊藤京子により記者発表を行っています。

「ENCOUNTER 出会い」配信に寄せて／マルタ・アルゲリッチによるメッセージ



私の音楽活動の中でも、私自身が関わり名前を冠した、日本での音楽祭創設は初めての経験でした。今やブエノスアイレスを経て、ルガノ、ハンブルグへとわたっています。日本から始まった活動が海外へ広がることは、稀な事だと聞き嬉しくも思っています。

この活動は、人間形成の基盤としての芸術の役割を鮮明にしていく活動でもあり、社会のインフラとしてとらえることが根底にあります。
争いは常に人間の歴史の中で、バッハ、モーツァルト、ベートーベンの時代にも当然起こりました。その中でも絶えることのなかった芸術活動でもあり、人の持つ大いなる精神活動を喚起し、諦めることなく長い歴史が紡がれていることに誇りを感じます。

異なる歴史や文化を持つ人々との、対話の重要性を私自身も音楽家として感じるなかで、この「ENCOUNTER 出会い」バッハと新作能舞との出会いは特別な経験となりました。

日本という異国の地で誕生し、西洋に誕生したクラシック音楽同様に長きにわたって人々によって、引き継がれている「能」の第一人者人間国宝でもある、大槻文蔵先生との共演は、東洋と西洋の文化の出会い、ということだけではありませんでした。
芸術が人を介して対話し、理解していく過程はあらゆる異なるものを越え、「調和」が生まれた瞬間でもありました。

この作品がステージプラスで全世界へ配信される意味は、決して小さくはないと感じています。
この配信を通して、対話の大切さを感じていただくことができればと思います。そして、地球上に生きることへの危機もあるなかで、お互いの違いを知り対話を重ね、調和へとこの世界が変化してくれることを心から願いたいと思います。

2026 年 11 月

マルタ・アルゲリッチ 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 総裁／別府アルゲリッチ音楽祭 総監督

マルタ・アルゲリッチがもたらした大きな実り

この舞台となった「Music Festival Argerich 's Meeting Point in Beppu（別府アルゲリッチ音楽祭）」は、アルゲリッチが初めて自身の名前を掲げた音楽祭であり、この音楽祭の成功をモデルにブエノスアイレス、ルガノ、ハンブルグでの音楽祭へ広がっていきました。
アルゲリッチが別府の地に降り立って 32 年、この音楽祭が世界に与えた影響は、クラシック音楽界において、西洋から常に受けとる側にあった日本から世界中へ受け渡すこととなった、画期的な歴史に刻まれる出来事と評されています。

この音楽祭の大きな特色は**＜社会での芸術の役割＞**を掲げていることです。2015 年、アルゲリッチの日本の活動拠点としてその名を冠した世界唯一の「しいきアルゲリッチハウス」が誕生。**長い人類の歴史で探求され続けた「人はどう生きるのか」という永遠のテーマを、＜寛容と共生＞を信条に私たちも皆様と共に考え、歩みを進めてまいります。**







＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

① 主催・団体名： 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団（理事長 伊藤 京子）
広報担当：松山 佳那子　matsuyama@argerich-mf.jp
住所： 〒874-0903 大分県別府市野口原 3030-1 しいきアルゲリッチハウス
TEL： 0977-27-2299　公式ウェブサイト https://argerich-mf.jp/
② 配信事業者： Deutsche Grammophon
担当者連絡先： haruka.izawa@umusic.com

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
公式ウェブサイト